※令和３年度以前入学生用

学校番号	1004

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校日本史Ａ　新訂版」（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・毎時間の課題の取り組みについては、関心や意欲を重視して評価します
・発問に対する回答など、意欲的に授業に取り組む姿勢を評価します

2　学習の到達目標

・日本前近代の歴史をふまえ、近現代史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化を理解する。
・歴史を、現代の課題と関連付けて学ぶことで、主体的思考力・歴史的思考力を養う。
・日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会で生きていくための自覚と資質を身につける。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ．関心・意欲・態度	ｂ．思考・判断・表現	ｃ．資料活用の技能	ｄ．知識・理解
観点の趣旨	日本史の学習内容について、興味や関心を持って取り組もうとしている。歴史的事実の原因について意欲的に探求する態度を身につけている。	歴史事象や歴史構造に問題を見出し、その問題を分析したり、多角的・総合的に考えたり、科学的に思考したりすることができる。また、考えた内容を、自分の言葉で表現することができる。	歴史的事実や歴史の構造について、自らの力で調べ、まとめることができる。歴史的事実やデータを、論理的に読み解くことができる。	歴史的事実や歴史の構造についての基本的な知識を身につけている。学習内容について、暗記ではなく、「なぜなのか」を考えることで、歴史的事実や現象の流れや前後のつながりを理解しようとしている。
評価方法	課題への取り組み	定期考査 レポート	定期考査 レポート	定期考査
	〔主題学習〕	〔主題学習〕	〔主題学習〕	〔主題学習〕

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点に適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	近代への転換	1．異国船の接近と幕藩体制の動揺 2．蘭学と国学の普及 3．開国と社会の変動 4．尊王攘夷から倒幕へ 5．明治維新と新政府の成立	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○	a 日本の近代国家の成立過程について、その時代の人物や遺跡・遺物などにふれ、関心を養う。 b 前近代と近代の基本的な違いを理解しつつ、日本の近代国家としての構造や発展過程の特徴を調べ、まとめ、発表できる。 c 歴史資料や歴史地図、さらに年表などを活用する力を身につけている。 d 日本の近代国家形成過程とその特徴を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 ・レポート
	大日本帝国の形成	1．文明開化と復古 2．地租改正と富国強兵 3. アジア外交と国境問題 4. 民権思想と国会開設運動 5．私擬憲法と政党の結成 6．松方財政と民衆運動の激化 7．大日本帝国憲法の制定	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a 日本の近代国家の成立過程について、その時代の人物や遺跡・遺物などにふれ、関心を養う。 b 前近代と近代の基本的な違いを理解しつつ、日本の近代国家としての構造や発展過程の特徴を調べ、まとめ、発表できる。 c 歴史資料や歴史地図、さらに年表などを活用する力を身につけている。 d 日本の近代国家形成過程とその特徴を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 ・レポート
	大日本帝国の展開	1．条約改正と立憲政友会の結成 2．朝鮮政策と日清戦争 3．日清戦争後の東アジア 4．日露戦争と朝鮮 5．朝鮮の植民地化 6．資本主義と寄生地主制 7．社会問題の発生 8．欧米文化と伝統文化の交錯	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a 日本の近代国家の展開過程で起こった民衆運動や戦争などについて、祖父母などから聴き取りなどをしながら、関心を養う。 b 民衆運動や戦争などがおこる歴史の構造を調べ、まとめ、発表できる。 c 地域に残る遺跡や遺物を調べ、まとめる力を身につけている。 d 日本の近代国家の展開過程で、民衆運動がおこったり、戦争に傾斜したりする経過、そして戦争がどんな性格であったかを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 ・レポート
2学期	両大戦間の世界と日本	1．大正デモクラシー 2．第１次世界大戦 3.第１次世界大戦後の世界 4．日本資本主義の成長 5．米騒動と改造の時代 6．男子普通選挙法と治安維持法 7.大正デモクラシーと文化	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ 	a 日本の近代国家の展開過程で起こった民衆運動や戦争などについて、祖父母などから聴き取りなどをしながら、関心を養う。 b 民衆運動や戦争などがおこる歴史の構造を調べ、まとめ、発表できる。 c 地域に残る遺跡や遺物を調べ、まとめる力を身につけている。 d 日本の近代国家の展開過程で、民衆運動がおこったり、戦争に傾斜したりする経過、そして戦争がどんな性格であったかを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 ・レポート
	15年戦争と日本・アジア	1．侵略戦争への序幕 2．満州事変と「満州国」 3．日中戦争 4．第２次世界大戦と日本 5．戦時下の学問と文化 6．アジア太平洋戦争 7．戦争末期の国民生活 8．日本の敗戦	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a 日本の近代国家の展開過程で起こった民衆運動や戦争などについて、祖父母などから聴き取りなどをしながら、関心を養う。 b 民衆運動や戦争などがおこる歴史の構造を調べ、まとめ、発表できる。 c 地域に残る遺跡や遺物を調べ、まとめる力を身につけている。 d 日本の近代国家の展開過程で、民衆運動がおこったり、戦争に傾斜していく経過、そして戦争がどんな性格であったかを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 ・レポート
	戦後改革と高度経済成長	1. 戦後世界と日本 2. 戦後アジアと日本・アメリカ 3. 日本国憲法と民主主義体制 4. 戦後改革の転換 5. 経済復興と再軍備 6. サンフランシスコ平和条約 7. 日米新安保条約 8. 高度経済成長と公害 9. ベトナム戦争と沖縄 10. 戦後の文化	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a 日本の近代と現代の基本的違いに関心を持つとともに、父母から聴き取りをしたり、時事的なニュースに関心を持つなど、現代社会への関心を養う。 b 戦前と戦後の基本的違いを認識するとともに、戦後の変遷を考え、まとめ、表現できる。 c 歴史資料や年表を活用する力を身につけている。新聞や雑誌の分析などで調べる力を身につける。 d 戦後の日本が戦前の国家の構造と全く違う民主的な国家体制になったことを理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 ・レポート

※令和３年度以前入学生用

３学期	現代の世界と日本	1．低成長への転換 2．経済大国と国民生活 3．世界の変動と国際関係 4.湾岸戦争後の世界と日本 5．バブル崩壊と政界再編 6．２１世紀の日本社会 7．21世紀の世界と日本	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a 日本の近代と現代の基本的違いに関心を持つとともに、父母から聴き取りをしたり、時事的なニュースに関心を持つなど、現代社会への関心を養う。 b 戦前と戦後の基本的違いを認識するとともに、戦後の変遷を考え、まとめ、表現できる。 c 歴史資料や年表を活用する力を身につけている。新聞や雑誌の分析などで調べる力を身につける。 d 戦後の日本が戦前の国家の構造と全く違う民主的な国家体制になったことを理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 ・レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。